

松本市社会福祉協議会内にあるボランティアセンターでは、
様々なボランティア活動に関わっています。

今回は、【傾聴ボランティア】を紹介します。

傾聴ボランティアってなあに？



心に寄り添いお話を聴くボランティアです

高齢者、子育て中の方、障がいをお持ちの方などが利用しています。

例えば・・・

- ・一人暮らしで話す人がいない。
- ・コロナ禍で人と会う機会が減って話すことがなくなった。
- ・気持ちを吐き出す場所がない。

登録したボランティアの方は、希望している高齢者等の個人宅や高齢者施設などを訪問し、傾聴ボランティア活動を行います。

個人宅の場合は、原則2名で訪問します。

話す人も、聴く人も、心が元気になり、お互い笑顔になる。
そんなボランティアです。

話を聴いて欲しい、お話を聴くことならできそうと思う方は
地区生活支援員まで連絡ください。

活動する時は、ボランティア保険をお勧めしていますので安心して活動できます。



社協キャラクター
つむぎちゃん

あなたは誰とつながっていますか？

友人とのウォーキングが何よりの楽しみ



俺は、畑だなぁ。近所の衆もみんな畑に居るさ



ご近所の人と顔を合わせると話をしているよ

私は、週1回のいきいき百歳体操に行ってるわ。筋力体操もできるし、皆とおしゃべりするのが楽しいの



俺は、隔週だけど、マレットゴルフに行っている。かあちゃんは、福祉ひろばのサークルに行ってるよ

つながり方は人それぞれ、あなたにあった環境を見つけましょう

特に高齢者の方は、歩いて行ける町会公民館や福祉ひろばなど、住み慣れた場所でのつながりづくりがとても大切です。新型コロナウイルス感染の恐怖から3年が経ち、今は少しずつ出来ることが増えてきました。

里山辺地区では、【高齢者の散歩支援】や【青空サロン「さとカフェ」】の開催も予定しています。これから少しずつ暖かくなります。外に出てリフレッシュしませんか。「そういう場に出たことがない」「どこか行きたいけど一人では、行きにくい」という方、地区生活支援員にお気軽に声をかけてください。



お問い合わせは
里山辺地区地域づくりセンター
電話 32-1077 直通携帯 070-8684-8035
地区生活支援員 野澤好子



生活支援員さとちゃん